

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年6月7日(2018.6.7)

【公開番号】特開2016-214975(P2016-214975A)
 【公開日】平成28年12月22日(2016.12.22)
 【年通号数】公開・登録公報2016-069
 【出願番号】特願2016-186634(P2016-186634)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 4 C

【手続補正書】

【提出日】平成30年4月18日(2018.4.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

払出条件の成立に起因して遊技媒体を所定数毎に分けて払い出す払出装置と、
 前記払出装置が遊技媒体を所定数払い出す毎に休止時間を設けて前記払出装置の払出動作の実行を前記休止時間の間停止させる払出休止手段と、
 遊技機の異常有無を判断する異常判断手段と、
 前記異常判断手段により異常有りと判断されたことを起因に前記払出装置の払出動作の実行を停止する払出停止手段と、
 を備える遊技機において、
 前記異常判断手段によって遊技機の異常有無を判断するための異常検出手段を備え、
 前記異常判断手段は、前記異常検出手段が前記休止時間において前記休止時間よりも短い時間に設定された異常検出時間の間継続して遊技機の異常状態を検出した場合に異常有りと判断して、前記異常検出時間が次の払出が行われる前に経過する場合は前記休止時間経過後の次の払出が行われる前に異常有りの判断を終了させるように構成し、
前記異常判断手段は、前記異常有りと判断した場合、前記異常検出時間及び前記休止時間よりも長い時間に設定された異常解除時間の間継続して遊技機の異常状態を検出しなかった場合に異常解除と判断し、
前記異常検出手段によって異常有無が判断される異常判断は、少なくとも第 1 の異常判断と第 2 の異常判断を有し、前記第 1 の異常判断と第 2 の異常判断の異常検出時間は異なることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

請求項 1 の発明は、払出条件の成立に起因して遊技媒体を所定数毎に分けて払い出す払出装置と、前記払出装置が遊技媒体を所定数払い出す毎に休止時間を設けて前記払出装置の払出動作の実行を前記休止時間の間停止させる払出休止手段と、遊技機の異常有無を判断する異常判断手段と、前記異常判断手段により異常有りと判断されたことを起因に前記

払出装置の払出動作の実行を停止する払出停止手段と、を備える遊技機において、前記異常判断手段によって遊技機の異常有無を判断するための異常検出手段を備え、前記異常判断手段は、前記異常検出手段が前記休止時間において前記休止時間よりも短い時間に設定された異常検出時間の間継続して遊技機の異常状態を検出した場合に異常有りと判断して、前記異常検出時間が次の払出が行われる前に経過する場合は前記休止時間経過後の次の払出が行われる前に異常有りの判断を終了させるように構成し、前記異常判断手段は、前記異常有りと判断した場合、前記異常検出時間及び前記休止時間よりも長い時間に設定された異常解除時間の間継続して遊技機の異常状態を検出しなかった場合に異常解除と判断し、前記異常検出手段によって異常有無が判断される異常判断は、少なくとも第1の異常判断と第2の異常判断を有し、前記第1の異常判断と第2の異常判断の異常検出時間は異なることを特徴とする。